

酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定に係る市民説明会 議事録概要

■日 時 : 平成 29 年 1 月 18 日 (水曜日) 午後 7 時から午後 7 時 40 分まで

■場 所 : 酒田市総合文化センター 4 階 411 号会議室

■参加者 : 市民 4 名、マスコミ 1 社、計 5 名

■質疑応答及び意見など

注) 個人に関わる質問及び意見は除外しています。

番号	説明会での質問または意見	説明会での回答	回答の補足
1	<p>・暫定駐車場（旧ジャスコ跡地）と隣接街区の間にある市道を、隣接街区南側に付け替えすることにより、防災上効果があるとの説明であったが、付け替え前の市道延長より、付け替え後の市道延長が短いことから、防災上不利な面があるのではないか。</p>	<p>・現在の隣接街区南側の通路は、一方通行かつ自動車 1 台のみが通行できる狭隘な道路であるが、再開発事業により、幅員約 8m の道路を整備することで、緊急車両がスムーズに通行できるなど、防災上の効果が大きいと考える。</p> <p>・暫定駐車場（旧ジャスコ跡地）と隣接街区の間にある市道を付け替えにより廃道したとしても、新たに整備する施設が公共施設や駐車場となるため、住まわれる方がいないという意味では、防災上支障はないと考える。</p> <p>・大きな意味では、再開発事業を行うことで、整備区域内の木造建築物を耐火建築物として整備することから、そのような面でも、防災上効果が大きいと考える。</p>	<p>・暫定駐車場（旧ジャスコ跡地）と隣接街区の間にある市道を付け替え（廃道）することで、複合施設（ライブラリーセンターなど）と立体駐車場、集合住宅とを利用者が行き来する際の安全性や利便性が大きく向上すると考える。</p> <p>・道路の付け替えについては、市道管理者とも協議済みであり、付け替えにより新たに整備する市道が廃道する道路の役割を担うことから、防災性や利便性が損なわれることはないと判断している。</p> <p>・再開発事業を行うことで、整備区域内の老朽化建築物の更新が図れることから、防災上効果が大きいと考える。</p>
2	<p>・具体的な整備内容に関する市民説明が必要ではないか。今後、どのような形で市民に説明するのかスケジュールを含め教えてもらいたい。</p>	<p>・現段階では、本日説明した以上の内容が決まっていないことから、詳細な整備内容に関する市民説明は、今後実施する基本設計の内容などを踏まえ、平成 29 年 8 月頃に予定している再開発事業の施行認可の前に説明したいと考えている。</p>	<p>・説明の内容については、駅前開発全体に関するものと、公共施設（ライブラリーセンターなど）に関するものがある。</p> <p>・方法としては、説明会、市広報、市ホームページ、光の湊株式会社ホームページなどにより情報提供していく。</p>

番号	説明会での質問または意見	説明会での回答	回答の補足
3	<p>・事業者募集の公開プレゼンテーションでは、事業予定者の西松建設株式会社が、SPC（特別目的会社）を設立すると説明していた。先日の新聞報道で分かったが、いつのまにかSPCに市が50%出資していることになっていたが、どのような経緯で、いつの段階で決まったのか教えてもらいたい。</p>	<p>・昨年の12月27日にSPCとして、光の湊株式会社を、西松建設株式会社と市が50%ずつ出資し設立した。</p> <p>・市が出資した理由は2つあり、一つは、西松建設株式会社が事業を進めていくうえで、市としてチェック機能を働かせるため。もう一つは、県の市街地再開発事業費補助金交付要綱の改正に伴い、市が出資することで県補助金の交付対象となるためである。</p> <p>・市が出資することは、昨年の9月議会に諮り、承認をいただいている。</p>	<p>・県の市街地再開発事業費補助金交付要綱は、事業者募集時点では、民間のみのSPCでも交付対象となっていたが、その後、改正となったものである。</p>
4	<p>・駅前開発に対する、市議会でのチェックや確認など、どのような形で進めているのかが市民は分からない。また、市議会から市民に対しての説明がない。市が出資する件についても、議論の無いままに承認されているように感じられることから、市議会からはストレスを持って進めてもらいたい。</p>	<p>(意見として承る。)</p>	<p>・駅前開発については、事案ごとに市議会に諮りご意見を伺いながら進めている状況である。</p>
5	<p>・事業内容や周辺環境対策など、今後、細かい部分を検討してもらい、酒田市民から納得してもらえるような駅前開発を進めてもらいたい。</p>	<p>(意見として承る。)</p>	<p>・市民に対しては、説明会、市広報、市ホームページ、光の湊株式会社ホームページなどで、情報を発信し、理解を得ながら事業を進めていきたいと考えている。</p>